

個々の問題の出題の意図及びその正答率

社会 小学校 第6学年

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率
	大問	小問	通番		思考・判断	観察・資料活用・表現	知識・理解	
日本の歴史	①	1	1	大和朝廷という言葉と、それが大和地方の有力な豪族たちがつくった政府であることがわかっている。			○	85.8
		2	2	古墳づくりの様子から、古墳を築くためには、すぐれた技術者を指図し、多くの人を働かせることができた人物がいたことを読み取ることができる。		○		82.4
		3	3	さくやほりに囲まれた集落の様子から、当時の社会の様子を考え、当時は食料、田や用水などをめぐって、むらとむらとの間で争いが起こっていたことを考え、文章にあらわすことができる。	○			83.8
	②	1	4	平安時代には、漢字を崩して作られたかな文字が使われるようになり、紫式部がかな文字で源氏物語を書いたことがわかっている。			○	83.0
		2	5	各時代を代表する人物やその業績、社会の様子や変化などを手がかりとして、時代の大きな流れを考えることができる。	○			54.9
		3	6	法隆寺は、聖徳太子が建てた飛鳥時代の代表的な建築物であることがわかっている。			○	75.8
		4	7	聖武天皇の力は全国に及び、全国から人や物資が集められたことを資料から読み取ることができる。		○		82.8
	③	1	8	平氏は源氏によって壇ノ浦の戦いで滅ぼされたことがわかっている。			○	71.1
		2	9	頼朝が政治を行った鎌倉のおおよその位置を日本地図の上で示すことができる。		○		55.9
		3	10	頼朝が御家人に領地の所有を認め、手柄に応じて新たな領地を与えたことに対して、御家人は幕府のために働くという土地を仲立ちにした「ご恩」「奉公」という関係で頼朝と御家人は結び付いていたことを考えることができる。	○			86.2
	④	1	11	織田信長のおこなったことと宗教のかかわり（ザビエル）がわかっている。			○	54.0
		2	12	全国統一をめざした豊臣秀吉が行った検地が、どのようなことで、どのような目的で行われたのかを考えることができる。	○			59.0
		3	13	豊臣秀吉が全国統一にどのような役割を果たしたのかを考え、キーワードを用いて自分の考えを表現することができる。	○			42.3
	⑤	1	14	資料が何を示しているのかを正しく読み取り、江戸幕府が行ったことが誰を対象に、どんな目的で行われたのかを区別することができる。		○		83.1
		2	15	江戸幕府が貿易船の出入りを制限した目的の一つは、キリスト教を禁止するためだったことがわかっている。			○	66.2
		3	16	幕府が大名をしたがえるために参勤交代を行ったこととかわらせて、資料の数字や内容が示すことを正しく読み取ることができる。		○		73.4
	⑥	1	17	人物の業績や当時の日本の様子を手がかりにして、西郷隆盛について考えることができる。	○			76.3
		2	18	新しい国をつくるために行われた様々な改革と、それらの改革の内容が正しくわかっている。			○	66.5
		3	19	大日本帝国憲法は、天皇の権力の強い憲法であったことを手がかりとして、資料が示している内容を正しく読み取り、適切な資料を選択できる。		○		38.0
		4	20	明治時代の人々の生活が江戸時代と比べて変化したもの、新しく生まれたものは何かという点に着目して読み取り、その変化の様子を自分のことばで表現することができる。		○		77.9